

国際交流活動

国際化センター 矢野恭弘

新型コロナウイルス感染症蔓延のため 2020 年度、2021 年度および 2022 年度はごく一部(例:デンマーク・オレロップ体育アカデミー奨学生派遣)を除いて交際交流活動は中止としました。

以下には、『自由学園年報』第 23 号(2019)「国際交流活動」(pp. 45-51)に掲載されなかった活動等について記します。(整理の都合上、第 23 号に掲載したものもあらためてあげている場合があります。見出しの番号は第 23 号の記事のものに依拠しています。)

Ⅲ. 受け入れ

4. その他の交流活動

(1) アメリカ

① 1998 年 6 月 20 日 ペンシルヴァニア州 Elizabethtown College の学長 Dr. Theodore Long 氏来校、学部生対象にリベラルアーツ教育について講演をされる。

② 2003 年 10 月 14 日 ケンタッキー州 Berea College の Dr. Larry Shinn 夫妻来校

③ 2004 年 6 月 21 日 クリスティーナ&ローラによるコンサート(クリスティーナの 2 人の妹が女子部中等科 3 年に短期留学をしていた縁で)

④ 2010 年 5 月 22 日～7 月 20 日 Berea College からの学生 Eric Moore 君短期留学

⑤ Westmont College からの学生短期受け入れ

- 1) 2012 年 5 月 11 日～21 日(女子 4 人、男子 1 人)
- 2) 2012 年 6 月 15 日～ 25 日(女子 4 人、男子 2 人)
- 3) 2013 年 5 月 24 日～約 1 ヶ月(女子 5 人、男子 1 人)
- 4) 2014 年 5 月～6 月の約 1 ヶ月(女子 2 人、男子 2 人)
- 5) 2015 年 5 月 22 日～6 月 19 日(女子 2 人、男子 2 人)

⑥ Westmont College の学生 TA

- 1) 2012 年 9 月～2013 年 7 月 Stephen Matsumura
- 2) 2013 年 9 月～12 月 Harrison Tau

⑦ 2012 年 6 月 22 日 12:00～17:00 ESD 日米教員交流プログラムにより、米国初等中等教育教員 23 人、フルブライト・ジャパン職員 2 人、通訳 2 人来校、校内見学と教師との交流。

⑧ 2012 年 11 月 8 日 ハワイのワイアケア高校(Waiakea High School)ロボット部生徒 12 人、教師 4 人と来校、男子部(解散後は女子部有志も参加)と交流。

⑨ 2015 年 6 月 25 日 9:00～12:45 ESD 日米教員交流プログラムにより、米国教員来校、山縣先生による ESD 教育

実践報告、校内案内、男子部生徒と習字体験、男子部長・初等部長・山縣先生と意見交換。男子部で昼食。

⑩ Kamehameha Schools, Hawaii との交流(第 23 号 p. 48 4.(1)に掲載済)

1)2017 年 6 月 9 日～11 日 Yumi Kasukawa 先生、Yuki Yano 先生、男子生徒 4 人、女子生徒 5 人

2)2019 年 6 月 7 日～9 日 Yumi Kasukawa 先生、Jan Ching 先生、ほか先生 2 人、男子生徒 4 人、女子生徒 5 人

(2) イギリス

① 1992 年 3 月 21 日 イートン校聖歌隊一行 50 人来校、午前中記念講堂で演奏会、午後男子部生徒とミニサッカー。竣工したばかりの羽仁吉一先生記念ホールで男子部の生徒と昼食と夕食を共にして交歓。

② 1995 年 4 月 7 日 ハロー校ラグビーチーム一行 32 人来校。お茶の会を開催し男子部生徒有志 32 人が交流。

③ 1996 年 10 月 14 日から 7 週間、初等部に 2 人の短期留学生在がイギリスから。ハナが 5 年生、ジャックが 3 年生のクラスに入る。

④ 1997 年 3 月 31 日 ハロー校ラグビーチーム一行 34 人と男子部有志生徒 19 人の親善試合を横浜の外国人クラブ YC&AC のグラウンドで。前後、ホームステイを男子部の家庭とする。

⑤ 2014 年 12 月 11 日 オックスフォード大学サッカー部来校。最高学部サッカー部と合同練習、昼食を共にし、午後学部生と交流。

⑥ 2018 年 10 月 22 日 チェルトナム・レイディーズ・カレッジ生徒一行生徒 26 人、先生 4 人来校(第 23 号、p.48 4.(2)に掲載)

(3) デンマーク

01)オレロップからの訪問

- ① 1931年9月15日 校長ニルス・ブック率いるエリートチーム来校、演技披露。
 - ② 1975年10月10日 エリートチーム来校、体操会で演技披露。
 - ③ 1989年10月13日 校長グナー・ハンセン率いるエリートチーム来校、演技発表。
 - ④ 1997年10月13日 エリートチーム一行36人来校、演技発表。
 - ⑤ 2001年10月6日 ウフェ・ストランビュー校長来校。体操会の日、全校生徒にスピーチ。
 - ⑥ 2002年10月10日、12日(体操会)エリートチーム来校、演技発表、共演。
 - ⑦ 2006年10月25日、26日 エリートチーム来校、演技発表とワークショップ。
 - ⑧ 2010年10月16日、19日 エリートチーム28人来校、演技発表とワークショップ。
 - ⑨ 2015年10月10日 エリートチーム32人来校、体操会で演技発表、初等部と合同発表。
- 02) オレロップ以外からの訪問
- ① 1970年4月29日 ナショナルチーム女子15人来校、演技発表と交流会。
 - ② 1972年10月10日 ヴィボー体操学校エリートチーム来校、体操会で演技発表。
 - ③ 1995年10月30日 スヴェンボー・チーム一行34人来校、演技発表。
 - ④ 1999年6月30日 中高年中心の体操チーム一行36人来校、体操披露。生徒に体操の授業、昼食は3部の食堂で。
 - ⑤ 1999年10月9日 男女の混合チーム(半数以上がオレロップの卒業生)一行31人が来校、体操会で演技発表。
 - ⑥ 2005年7月9日 ボーリング体操学校チーム来校、演技発表とワークショップ
 - ⑦ 2005年10月8日 ヴェスタロン・オングラムスコーレのエリートチーム一行40人来校、体操会で演技発表、10日に演技発表とワークショップ。
 - ⑧ 2011年2月27日、28日 ナショナルチーム28人来校、東京公演を学園で、2日目にはワークショップ。
 - ⑨ 2016年10月15日～17日 ボーリング体操学校の卒業生チーム34人来校、演技発表(第23号p.48(5)1)に掲載)

- ⑩ 2018年10月19日～21日 リヒティゲ・メン体操チーム来校、演技披露とワークショップ(第23号p.48(5)2)に掲載)
 - (4) フランス (第23号p.49(4)に掲載)
 - (5) 韓国
- 0) 財団法人ユネスコ・アジア文化センターACCU との活動
- ① 2011年1月14日 10:00～15:00 韓国教員30人、通訳2人、スタッフ2人 合計34人来校。午前中初等部見学、昼食は男子部・女子部に分かれて。午後男子部・女子部見学。
 - ② 2012年1月13日 9:30～15:00 韓国教職員28人、センター職員1人、通訳2人、添乗員1人 計32人来校。学校説明後、男子部高2生徒と交流、昼食は男子部と女子部に分かれる。午後校内見学と教員との意見交換。
 - 1) Torch Trinity Graduate University(『年報』23号p.49に掲載)
 - 2) 韓国ボーイスカウト(『年報』23号p.49に掲載)
 - 3) そのほか
 - ① 2006年1月24日 10:00～14:00 ソウル市代案教育センター所長と教員4人、ソウル市ノンミサン学校教員3人等合計8人来校、授業見学と寮見学、昼食は女子部食堂で。
 - ② 2006年6月23日 13:30～16:40 Youth With A Mission 世界青年宣教会の4人が来校。生活創作館、図書館、体育館など案内。
 - (6) 日本 (第23号p.49(6)に掲載)
 - (7) 中国
 - ① 2006年7月20日 10:00～14:00 北京市青少年交流団(男子生徒10人、女子生徒16人、大人10人)来校。東京都日本中国友好協会主催によるもの。学園側は夏休み中だったが、男子部生徒10人、女子部生徒24人、教師11人で交歓。
 - ② 2008年6月26日 12:20～16:45 東京都日本中国友好協会の世話で、中国から男子生徒7人、女子生徒3人、付き添い教師3人が来校、男子部記念ホールと女子部食堂に分かれて昼食の後、授業参観やお茶の会で交流。
 - ③ 2013年7月15日 中国教育関係者24人、北京と広州から来校、男子部で昼食。
 - ④ 2015年6月8日 牛志奎教授(2013年北京生活学校開校75周年記念会参加の方)、上越教育大学の梅野正信教授と子息と来校。

(8) ドイツ

① 1996 年 3 月 28 日 ハノーバー少女合唱団(13 歳から 22 歳の 54 人とスタッフ 7 人)来校。女子部食堂で有志生徒と昼食会。

② 2013 年 10 月 22 日 日独青年相互交流計画で 13 人が来校。最高学部生と交歓。昼食は女子部と男子部に分かれてとる。

③ 2017 年 10 月 18 日 ゲーデ弦楽四重奏団によるコンサート。最後に生徒・学生のオーケストラ有志と共演。

④ 2018 年 10 月 17 日 「若者たちの未来に心を寄せて」ウィーン・ピアノ五重奏団コンサート(ダニエル・ゲーデ主宰)

⑤ 2019 年 10 月 26 日 ダニエル・ゲーデ氏客員教授就任記念コンサート、午前と午後 2 回に分けて記念講堂にて開催。11 月初旬には弦楽オーケストラ部にワークショップ実施。

(9) アルゼンチン

1999 年 3 月 7 日～18 日 コルドバ州のバスケットチーム一行 15 人が来校、学部チームと親善試合。イベント企画実行委員会代表に学部 3 年の小林伸哉君。

(10) ロシア

1999 年 10 月 19 日 ミステリウム室内アンサンブル一行 6 人来校してコンサート。アンサンブルのメンバーの一人は初等部から女子部高等科 2 年まで在学し、モスクワ音楽院弦楽科に留学した板橋みづきさん。

(11) メキシコ

2005 年 7 月 6 日東京芸術劇場で開催の日本・メキシコ友好コンサート(黒沼ユリ子さん主催のメキシコの音楽学校創立 25 周年記念に同校生徒 12 人が来日)に学園のオーケストラが友情出演。(東京第一友の会のお世話で実現)

(12) パラグアイ

2012 年 7 月 10 日 駐日パラグアイ共和国特命全権大使と日本パラグアイ学院一行 21 人(生徒 13 人、先生 2 人、学校関係者 6 人)来校。女子部食堂で昼食と交歓。

(13) ニュージーランド

2013 年 11 月 26 日 Wellington Citadel Band(ウェリントン・シタデル・バンド)、記念講堂でコンサート。

(14) オーストラリア

2014 年 9 月 25 日 Golden Grove Lutheran Primary School の 11 歳、12 歳の児童 6 人と教師・父母 6 人初等部に来校、授業、昼食、掃除などを一緒にする。

(15) スウェーデン

2017 年 5 月 23 日 レーナ・マリアさん特別演奏会。

5. 教育関係者の訪問

(2) フィンランド

④ 2019 年 11 月 28 日 Finland Japan Center for Education の代表の Heikki Mäkipää(ヘイッキ・マキパー)博士が来校。氏は 2014 年にアラヤルヴィ・ヴィンペリ両高校と交換協定を締結した際に仲介をされた方で、今回の訪問も 5 年経過した協定を更新するため。アラヤルヴィに近いヴィンペリの町長 Sam Leijonanniemi(サム・レイヨナンミエリ)氏とラッパヤルヴィの町長 Sami Alasara(サミ・アラサラ)氏も同道され学園内を見学された。

(4) アメリカ

① 2015 年 6 月 22 日～25 日 テネシー州 McCallie School の Mr. Cody Cleveland が研修で来校。初等部から学部までの授業参観等。

② 2017 年 10 月 25 日 サンフランシスコの Millennium School 校長 Mr. Chris Balm 氏来校。(第 23 号 p. 49 5. (4)①に掲載)

③ 2018 年 5 月 18 日 Seattle University の Mr. Jeff Schofield と Washington University の Mrs. Hettie Schofield 夫妻来校。(第 23 号 p. 49 5. (4)②に掲載)

IV. 派遣

2. 長期海外留学

(2) デンマーク オレロップ体育アカデミー奨学生

④ 2020 年 8 月～12 月 平田溪

⑤ 2021 年 8 月～12 月 根上悠我

4. その他

(4) ESD 日米教員交流プログラム(日米教育委員会フルブライト・ジャパン主催)

① 2011 年 4 月 22 日(金)～5 月 7 日(土) 男子部部長 高橋和也

ワシントン D. C. 滞在后、Vermont, Wisconsin, New Mexico 州にグループに分かれて移動、国連機関訪問、見

学、サンフランシスコで米国教員との合同会議。その後、神戸で同年7月1日～3日まで、合同会議。

② 2012年4月21日(土)～5月4日(金) 男子部副部長 更科幸一

ワシントンD.C.滞在後、Missouri州のKansas Cityとワシントン州のSeattleに分かれ学校や国連機関訪問、サンフランシスコで合同会議。

③ 2015年4月25日～5月8日 男子部教員 山縣基

ワシントン D.C.,サンフランシスコで学校訪問と米国人教員と交流。

(5) 韓国政府日本教職員招聘プログラム (財団法人ユネスコ・アジア文化センターACCUとの活動)

① 2011年8月26日～9月4日 初等部教員 大隈賢

ソウル、プサンほか慶尚南道(キョンサンナムド)、全羅南道(チョルラナムド)訪問

② 2012年8月29日～9月7日 男子部教員 高田貴

ソウル、大田市、プサンの小中高の学校視察。忠清南道教育長訪問。ソウル市内見学。

③ 2015年8月25日(火)～8月31日(月) 男子部教員 針谷健太

ソウル、ユネスコスクール見学、全羅南道・京畿道、プサン訪問

(6) 国際連合大学2014年中国政府日本教職員招へいプログラム(協力:財団法人ユネスコ・アジア文化センターACCU)

2014年5月17日～25日 男子部教員更科幸一、北京、貴陽市、上海の各教育庁訪問。

(7) 公益財団法人 東京都私学財団主催による「私立学校教員海外研修」プログラム

2016年9月18日～26日 初等部教員真中昭典、米国マサチューセッツ州、ニューヨーク州内の幼稚園から大学まで計8校を訪問。(研修参加報告書『自由学園年報』第21号(2017)参照)

(8) そのほか

① 2010年1月2日～31日 近藤輝正(67回生)学部3年在学時の3学期、米国ケンタッキー州 Berea College に短期留学

② 2010年3月28日～4月3日 日中友好日本高校生訪中団の一員として、男子部高3宮内受之、女子部高2増田沙紋が北京、南京、上海を訪問、高校生と交流。

③ 2012年3月23日～31日 ESD日米青年交流プログラム(日米教育委員会フルブライト・ジャパン)による短期留学 男子部高2 西村直人、ワシントンD.C.、フィラデルフィアのワイオミング高校訪問、ニューヨーク、ボストン市内の学校訪問、見学。

④ 2013年1月25日～27日 ハワイで開催された国際ロータリーGlobal Peace Forum 2013に最高学部3年生(男子部70回生)の新井薫、磯部尚史、佐藤慎の3人が参加。国際交流基金他から資金援助がある。

⑤ 2014年3月15日～4月4日 ジャパンソサイエティとTOMODACHI Japan Society の Junior Fellow Exchange Program で男子部高1 福井周がアメリカ New Jersey 州のNorthern Valley Old-Tappan High School に短期留学。

⑥ 2015年3月22日～27日 男子部教員鈴木裕大、山本太郎 第5回春季オランダイェナプラン研修に参加。

⑦ 2015年12月7日～14日 男子部長更科幸一、オランダ研修。オランダ国内の中学校5校見学、オランダとイギリスの教育学者たちと話し合い。

⑧ 2017年5月25日～6月3日 初等部体育教師森井宏之、母校であるデンマーク・オレロップ体育アカデミーの同窓会に出席(研修報告『自由学園年報』第22号(2018)pp. 151-155 参照)

⑨ 2017年9月～2018年12月 女子部英語教師高松功太郎、イギリス University College London, Institute of Education (ロンドン大学教育研究所)の修士課程に留学。(研修報告『自由学園年報』第24号(2020)pp. 169-171 参照)

V. 北京生活学校卒業生との交流

(1) 1992年11月16日～21日 卒業生10人、美術工芸展見学を兼ねて来校。

(2) 1997年10月16日～21日 卒業生8人来校、清風寮に2泊。

(3) 1998年5月14日 開校60周年記念「校慶会」北京で開催。60人ほどが出席。羽仁翹学園長、各部代表教師も出席。

(4) 2003年9月8日 北京生活学校開学65周年

(5) 2006年5月16日 卒業生4人来校。

(6) 2008年5月31日 北京生活学校開学70周年記念会(於北京)に学部生6人、教師1人が参加。

- (7) 2013年9月8日 北京生活学校開学75周年記念会、矢野恭弘学園長他、各部代表を含み35人が北京に集まる。
- (8) 2018年5月15、16日 開学80周年、3回生の劉鳳祥さん来校

VI. 外国人留学生の受け入れ

戦前から外国人留学生を受け入れた例はあるが、羽仁翹第3代学園長(在任期間1990～2004年)の時代から積極的な受け入れが始まった。

異なる文化・言語を持つ同年代の外国人留学生と共に学ぶ生活を通して、生徒たちは国際的視野を広げ、多様性を認めて「共に生きる」ことを実践するよい機会を得る。近年、各クラスに一人か二人の留学生を積極的に受け入れることが考えられている。

1. 国際交流基金^(財)による奨学生

(注:元男子部・女子部の数学教師安部道雄先生の遺贈により1993年に設立された基金)

- (1) マハルジャン・ブラニッシュ(ネパール) 1994年(平成6年)4月男子部中等科1年入学、2004年(平成16年)3月最高学部卒業
- (2) 江安琪(中国) 1995年(平成7年)4月女子部高等科1年入学、2000年(平成12年)3月女子最高学部卒業
- (3) 李穎(中国)1997年4月女子部高等科1年入学、2000年3月同3年修了
- (4) 柴田シンシア・アマ(ガーナ)1999年4月中等科1年入学、2012年3月同3年修了
- (5) 黄河(中国) 2000年4月男子部高等科1年入学、2003年3月同3年修了
- (6) ブラダン・プリハシュバティ(ネパール) 2004年4月(平成16年)4月男子部中等科1年入学、2014年(平成26年)3月最高学部卒業
- (7) ヤクー・ダオ(ミャンマー)2015年9月高等科1年編入学、2016年3月同退学、帰国

2. 私費留学生

- (1) ネパールから女子1人、1990年4月初等部入学、1996年4月女子部中等科1年入学
- (2) 中国から1人、2005年4月男子部高等科1年入学、同年8月退学
- (3) 韓国から1人、2007年4月女子部高等科1年入学、2010年3月同3年修了

- (4) 中国から1人、2009年4月女子部高等科1年入学、2012年3月同3年修了
- (5) 中国籍(日本在住)の1人、2013年4月女子部中等科1年入学、2019年3月高等科3年修了
- (6) 台湾から1人、2014年4月男子部中等科1年入学、2015年3月退学
- (7) 韓国から1人、2015年4月女子部中等科2年転入学、2020年3月高等科3年修了
- (8) 中国から2人、2016年4月男子部高等科1年入学、2019年3月同3年修了
- (9) 中国から1人、2016年4月男子部中等科2年転入学
- (10) 中国から1人、2017年4月男子部高等科1年入学、2020年3月同3年修了
- (11) 中国から1人、2017年4月女子部高等科1年入学、2018年3月退学
- (12) 中国から1人、2018年4月男子部中等科3年編入学
- (13) 中国から2人、2019年4月男子部高等科1年入学
- (14) 中国から1人、2019年4月女子部高等科1年入学
- (15) 中国から1人、2020年4月男子部高等科1年入学
- 以上